

第2回姫路市自転車等駐車対策協議会資料

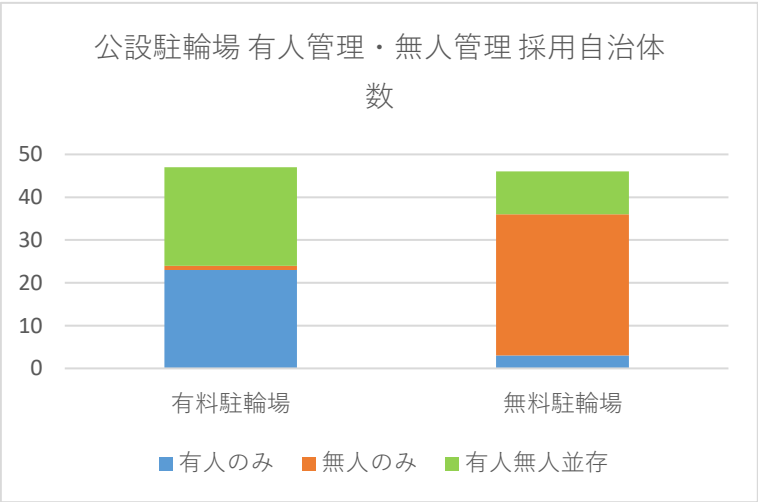
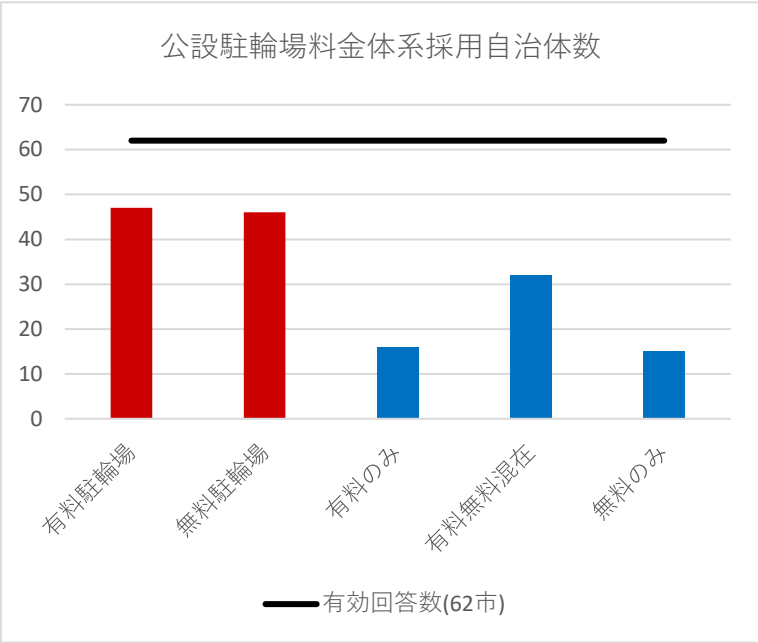
駐輪場施策に関する他都市事例等の調査結果

① 他都市状況調査結果：有料・無料/有人・無人別 公設駐輪場設置自治体数

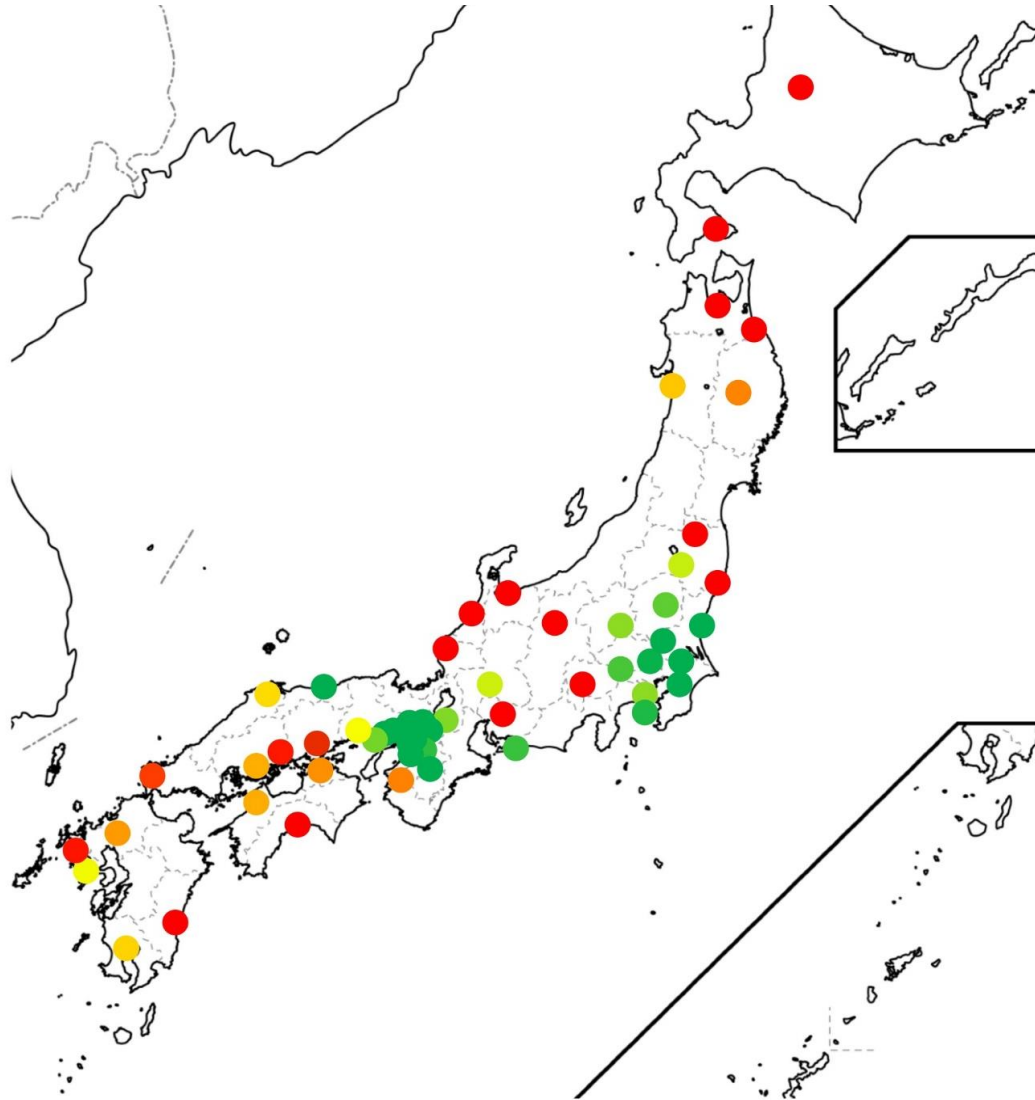
有料・無料駐輪場の有無	中核市	兵庫県内	全体	割合
有効回答数(姫路市含む)	55	11	62	
有料駐輪場あり	41	10	47	75.8%
うち、有人のみ	20	5	23	48.9%
うち、無人のみ	1	0	1	2.1%
うち、有人無人並存	20	5	23	48.9%
無料駐輪場あり	42	7	46	74.2%
うち、有人のみ	2	1	3	6.5%
うち、無人のみ	30	5	33	71.7%
うち、有人無人並存	10	1	10	21.7%

有料・無料に統一しているか 混在しているか	中核市	兵庫県内	全体	割合
有効回答数(姫路市含む)	55	11	62	
有料駐輪場のみ (※)	12	4	16	25.8%
有料無料混在	28	6	32	51.6%
有料が多い【箇所数基準】	8	2	9	27.3%
拮抗(40～60%)【箇所数基準】	5	0	5	15.2%
無料が多い【箇所数基準】	15	4	18	54.5%
有料が多い【収容台数基準】	15	4	17	53.1%
拮抗(40～60%)【収容台数基準】	5	2	8	25.0%
無料が多い【収容台数基準】	8	0	7	21.9%
無料駐輪場のみ	14	1	15	24.2%
公設駐輪場なし	0	0	0	0.0%
人口100人当り公設駐輪場台数	2.83	5.39	3.08	

(※) 有料駐輪場のみと回答した中核市は13市だが、うち1市は5駅周辺に非公開の無料駐輪場を運営しているため、12とした



② 他都市状況調査結果：公設駐輪場 有料・無料別 中核市位置図

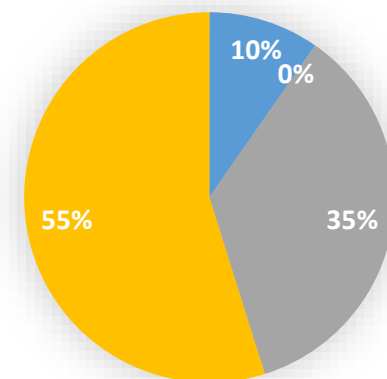


都市名	公設駐輪場数		有料駐輪場の割合	
	箇所数	台数	箇所数	台数
函館市	1	220	0.0%	0.0%
旭川市	12	1,430	0.0%	0.0%
青森市	8	1,988	0.0%	0.0%
八戸市	9	781	0.0%	0.0%
盛岡市	10	4,335	20.0%	32.9%
秋田市	17	7,015	11.8%	49.2%
福島市	24	6,577	0.0%	0.0%
郡山市	14	5,984	21.4%	71.2%
いわき市	19	5,144	0.0%	0.0%
水戸市	6	6,370	100.0%	100.0%
宇都宮市	17	9,914	58.8%	86.2%
高崎市	13	7,297	61.5%	79.6%
川越市	18	15,645	77.8%	79.3%
川口市	37	26,894	89.2%	98.9%
越谷市	19	14,689	100.0%	100.0%
船橋市	84	38,419	100.0%	100.0%
柏市	16	26,893	100.0%	100.0%
八王子市	71	29,502	73.2%	89.4%
横須賀市	35	10,255	80.0%	95.8%
富山市	55	6,079	0.0%	0.0%
金沢市	44	7,943	0.0%	0.0%
福井市	27	3,974	0.0%	0.0%
甲府市	7	3,698	0.0%	0.0%
長野市	33	9,559	0.0%	0.0%
岐阜市	27	9,217	33.3%	70.4%
豊橋市	10	6,953	50.0%	91.7%
豊田市	42	9,736	2.4%	2.9%
大津市	29	13,972	58.6%	81.2%
豊中市	36	17,087	100.0%	100.0%
吹田市	43	26,542	100.0%	100.0%
高槻市	9	10,062	100.0%	100.0%
枚方市	26	14,480	96.2%	99.3%
八尾市	22	18,853	100.0%	100.0%
寝屋川市	14	8,518	100.0%	100.0%
東大阪市	49	25,237	91.8%	93.5%
尼崎市	40	27,925	100.0%	100.0%
明石市	52	25,983	76.9%	83.1%
西宮市	68	24,352	100.0%	100.0%
奈良市	10	6,174	100.0%	100.0%
和歌山市	31	10,066	12.9%	32.5%
鳥取市	2	1,061	100.0%	100.0%
松江市	9	3,882	22.2%	54.4%
倉敷市	31	12,672	0.0%	0.0%
呉市	22	7,174	13.6%	43.5%
福山市	34	11,574	2.9%	6.1%
下関市	21	5,614	14.3%	15.2%
高松市	75	11,720	5.3%	35.9%
松山市	17	2,829	11.8%	42.9%
高知市	19	4,437	0.0%	0.0%
久留米市	30	8,397	13.3%	38.5%
長崎市	22	1,032	54.5%	65.0%
佐世保市	11	763	27.3%	5.0%
宮崎市	22	4,090	0.0%	0.0%
鹿児島市	21	7,906	47.6%	52.4%
姫路市	52	19,551	28.8%	64.1%

③ 他都市状況調査結果：有料・無料公設駐輪場の統一方針、有料化事例、無料化事例

統一方針	中核市	兵庫県内	全体	割合
有効回答数(姫路市含む)	27	6	31	
有料に統一を検討	2	1	3	10%
無料に統一を検討	0	0	0	0%
統一しない方針	10	1	11	35%
未定、特になし、その他	15	4	17	55%

公設駐輪場の有料・無料統一方針



■ 有料に統一を検討
■ 無料に統一を検討
■ 統一しない方針

有料化・無料化事例ありと回答した市	中核市	兵庫県内	全体	割合
有料化事例あり	10	2	11	
うち、全公設駐輪場有料化	4	0	4	36%
有料化により利用者数増	2	0	2	
有料化により利用者数減	4	2	5	
有料化により放置自転車増	0	0	0	
有料化により放置自転車減	3	1	4	
無料化事例あり	7	1	8	
うち、全公設駐輪場無料化	2	0	2	25%
無料化により利用者数増	3	1	4	
無料化により利用者数減	0	0	0	
無料化により放置自転車増	1	0	1	
無料化により放置自転車減	2	1	3	

(※) 無料化事例について記載のあった自治体は9市だが、うち1市は「当初より無料」とコメントがあったため除外した

有料化事例ありと回答した市と公設駐輪場の整備台数(赤字は公設駐輪場をすべて有料化している市)

・埼玉県越谷市 (14,689台) ・千葉県柏市 (26,893台) ・岐阜県岐阜市 (9,217台) ・大阪府吹田市 (26,542台)
 ・大阪府高槻市 (10,062台) ・大阪府東大阪市 (25,237台) ・広島県福山市 (11,574台) ・山口県下関市 (5,614台)
 ・長崎県長崎市 (1,032台) ・兵庫県加古川市 (19,540台) ・兵庫県姫路市 (19,551台)

無料化事例ありと回答した市と公設駐輪場の整備台数(赤字は公設駐輪場をすべて有料化している市)

・秋田県秋田市 (7,015台) ・富山県富山市 (6,079台) ・長野県長野市 (9,559台)
 ・大阪府吹田市 (26,542台、平成25年までの暫定措置であり、現在はすべて有料駐輪場)
 ・島根県松江市 (3,882台) ・広島県呉市 (7,174台) ・山口県下関市 (5,614台) ・兵庫県三田市 (3,823台)

④ 他都市状況調査結果：有料化・無料化の効果と問題点

有料化事例

都市名	有料率	経緯	有料化による効果	有料化による問題点
越谷市	100.0%	駐輪台数が増加し、安全性確保や受益者負担の観点から有料化。	・利用台数の抑制 ・民営駐輪場が7箇所から12箇所に増加	・300台の収容台数に対し、90台程度の利用
柏市	100.0%	合併した旧沼南町の駐輪場を、新駅の開設に合わせ有料化。市の基準により駐輪場は受益者負担率100%。		・受益者負担のみで運営するためには利用料の値上げが必要
岐阜市	70.4%	放置自転車の増加に対応するため駅周辺に禁止区域を設定した際に、駐輪場の増設と合わせて有料化。	・放置自転車の減少	
福山市	6.1%	駅前再整備により有料駐輪場を整備し、無料の仮設駐輪場を廃止。	・施設内容で無料駐輪場との差別化が図れた ・駐輪場内放置自転車の減少	・維持管理経費が増加
下関市	15.2%	駅周辺の放置禁止区域指定に合わせ有料化。	・利用台数の増加 ・放置自転車の減少	・有料化直後は一時的に利用台数減少
長崎市	65.0%	一定の駐輪需要が見込めるところから随時有料化を実行中。	・長期間放置やごみの散乱が減少	
加古川市	42.2%	駅周辺の無料駐輪場を廃止し、(公財)自転車駐車場整備センターの有料駐輪場を整備。	・駐輪場が丁寧に利用される ・駐輪場に入りきらず周辺道路にあふれる自転車が無くなった	・利用台数が激減した(400台→10台→90台)

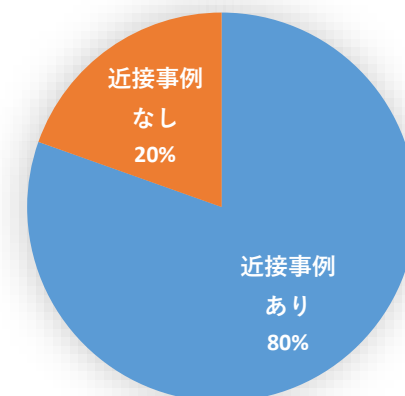
無料化事例

都市名	有料率	経緯	無料化による効果	無料化による問題点
秋田市	49.2%	中心市街地再開発事業に合わせ、中心市街地活性化のため無料化。	・利用台数の大幅な増加	・施設の維持管理費が利用料金収入で賄えない
富山市	0.0%	有料駐輪場利用者と、無料レンタサイクル利用者や路上放置する者との間の不公平を無くす目的で無料化。	・駐輪場利用者の負担軽減、不公平感の解消 ・無料化のみならず設備の充実と規制強化を行ったことによる放置自転車の減少	・駐輪場内放置や盗難の増加 ・無料化しても駐輪場の利便性や収容能力を十分に高めないで放置自転車が減らなかった
長野市	0.0%	有料駐輪場の利用率が低迷しており、放置自転車対策のため無料化	・放置自転車の減少 ・自転車の利用促進	・利用料収入の減少 ・駐輪場の混雑
呉市	43.5%	無料化し、地元管理とした		・放置自転車の増加
三田市	46.0%	H24～26に7駅周辺で無料化を実施	・放置自転車が減少傾向	・駐輪場内への乗り捨てが発生

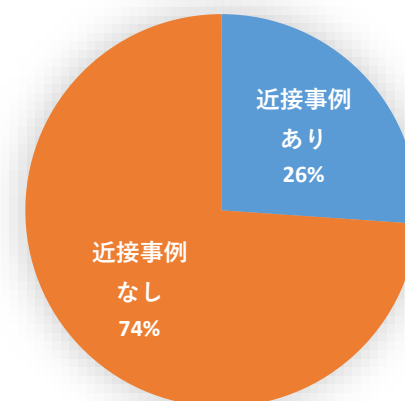
⑤ 他都市状況調査結果：民営駐輪場と公設駐輪場の並存

	中核市	兵庫県内	全体	割合
有効回答数(姫路市含む)	54	11	61	
公設有料駐輪場あり	40	10	46	
公設無料駐輪場あり	42	7	46	
有料公設駐輪場が近接している	31	9	37	80.4%
すべての駐輪場が民営駐輪場に近接	9	2	10	21.7%
有料民営駐輪場近接の事例あり	31	9	37	80.4%
無料民営駐輪場のみ近接の事例あり	4	0	4	
無料公設駐輪場が近接している	14	3	16	34.8%
すべての駐輪場が民営駐輪場に近接	2	1	3	6.5%
有料民営駐輪場近接の事例あり	10	3	12	26.1%
無料民営駐輪場のみ近接の事例あり	4	0	4	

公設有料駐輪場に民営有料駐輪場
が近接する事例の有無



公設無料駐輪場に民営有料駐輪場
が近接する事例の有無



公設無料駐輪場と民営有料駐輪場の近接について、具体的な事例、意見

- ・無料駐輪場は駅からの距離や屋根等の設備の有無で、民営有料駐輪場と差別化している
- ・有料駐輪場の利用率減少、民営駐輪場の進出阻害等が発生しているという意見があるが、問題なく併存しているとの意見もある。
- ・条件付き無料駐輪場の近接地に民営有料駐輪場が整備された事例あり(宇都宮市)

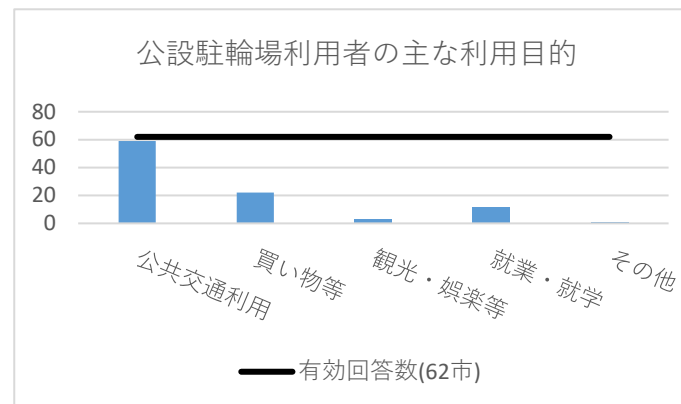
公設無料駐輪場の整備運営における方針・考え方（民営と併存していない市の回答も含む）

- ・無料駐輪場は原則として屋根や防犯カメラを具備しない無人施設としている。（16市）
- ・無料駐輪場は駅などから離れた位置に整備している。（4市）
- ・無料駐輪場は主要駅以外の需要の少ない場所に整備している。（17市）
- ・無料駐輪場は放置禁止区域が設定されていない場所に整備している。（2市）

⑥ 他都市状況調査結果：公設駐輪場の主な利用目的及び整備目的

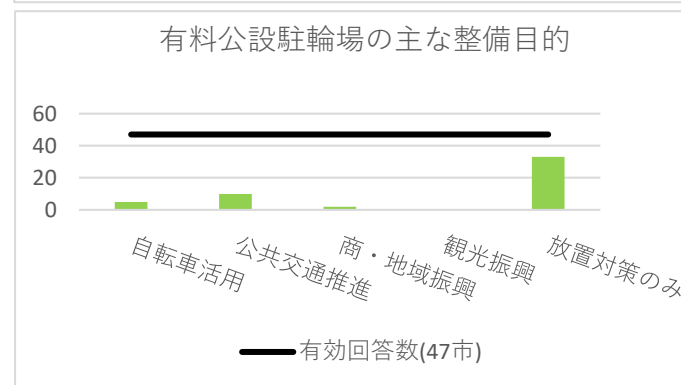
公設駐輪場利用者の主な利用目的として以下の項目を選択した自治体数

	中核市	兵庫県内	全体	割合
有効回答数(姫路市含む)	54	11	62	
公共交通機関利用	52	11	59	95%
買い物・商業施設利用	21	2	22	35%
観光・文化・娯楽施設利用	3	0	3	5%
就業・就学利用	12	0	12	19%
その他	1	0	1	2%

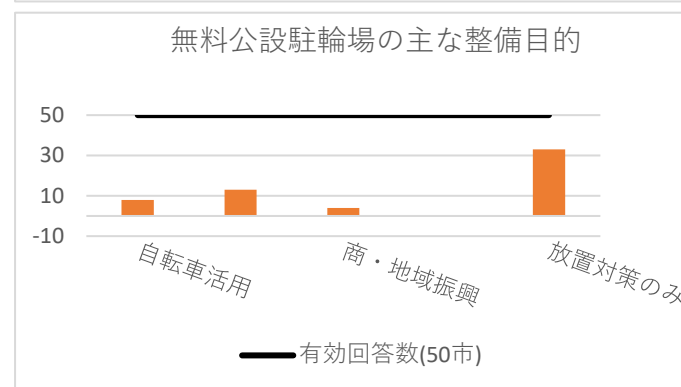


放置自転車対策以外の目的をもって整備した公設駐輪場がある自治体数

有料公設駐輪場	中核市	兵庫県内	全体	割合
有効回答数(姫路市含む)	41	9	47	
自転車利活用推進	5	1	5	11%
公共交通機関利用促進	9	1	10	21%
商店街等商業施設、地域振興	2	0	2	4%
観光振興	0	0	0	0%
放置自転車対策以外を主目的としない	30	7	33	70%



無料公設駐輪場	中核市	兵庫県内	全体	割合
有効回答数(姫路市含む)	44	9	50	
自転車利活用推進	7	1	8	16%
公共交通機関利用促進	11	2	13	26%
商店街等商業施設、地域振興	3	1	4	8%
観光振興	0	0	0	0%
放置自転車対策以外を主目的としない	29	6	33	66%



⑦ 駅別駐輪場設置状況及び利用料金（公設有料・公設無料・民営）

■ 公設（無料）のみ

■ 公設（有料）のみ

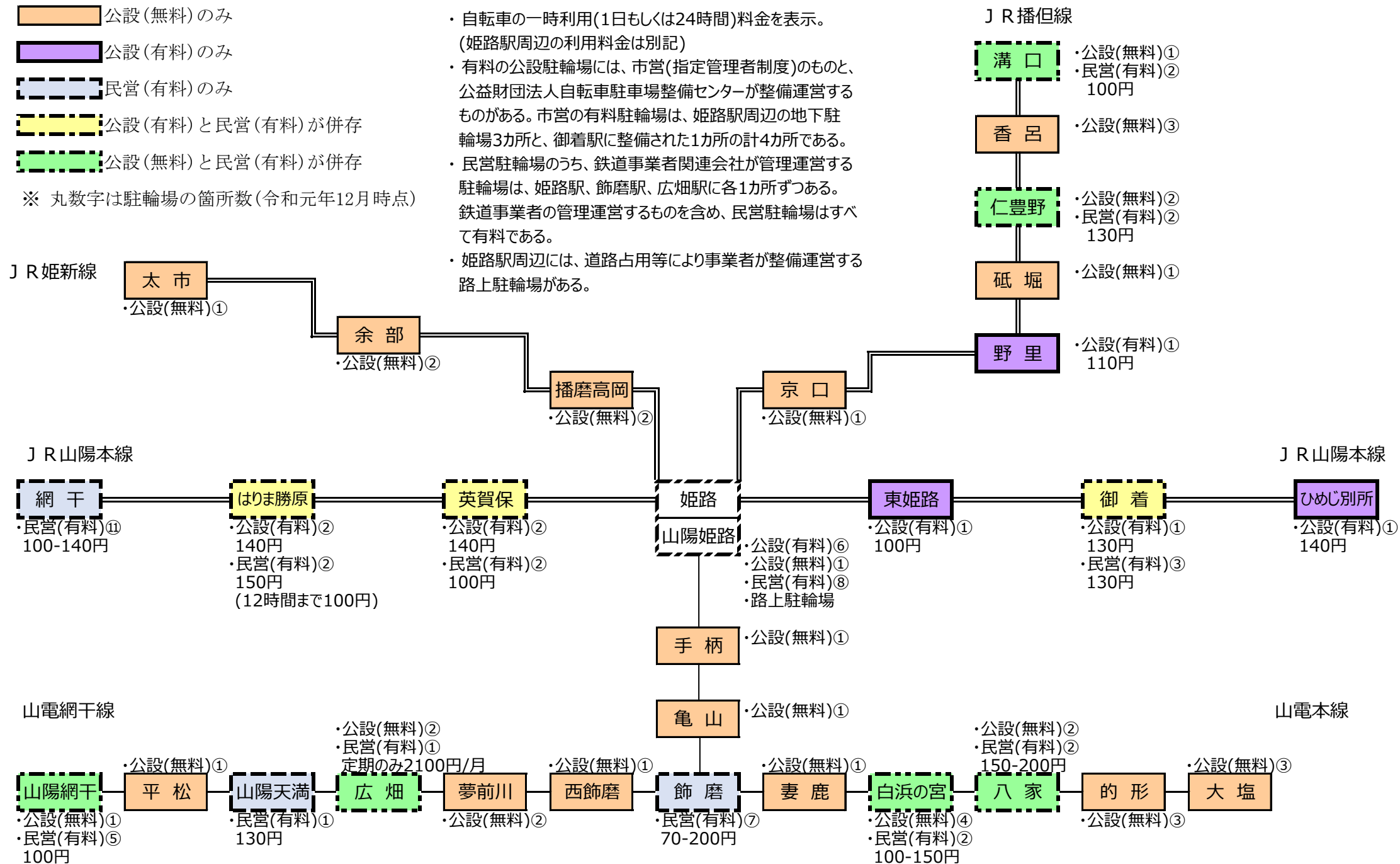
■ 民営（有料）のみ

■ 公設（有料）と民営（有料）が併存

■ 公設（無料）と民営（有料）が併存

※ 丸数字は駐輪場の箇所数（令和元年12月時点）

- ・ 自転車の一時利用（1日もしくは24時間）料金を表示。
（姫路駅周辺の利用料金は別記）
- ・ 有料の公設駐輪場には、市営（指定管理者制度）のもの、
公益財団法人自転車駐車場整備センターが整備運営する
ものがある。市営の有料駐輪場は、姫路駅周辺の地下駐
輪場3カ所と、御着駅に整備された1カ所の計4カ所である。
- ・ 民営駐輪場のうち、鉄道事業者関連会社が管理運営する
駐輪場は、姫路駅、飾磨駅、広畑駅に各1カ所ずつある。
鉄道事業者の管理運営するものを含め、民営駐輪場はすべ
て有料である。
- ・ 姫路駅周辺には、道路占用等により事業者が整備運営する
路上駐輪場がある。



⑧ 姫路駅周辺の駐輪場利用料金

駐輪場名	一時利用	単位時間	24時間換算	無料時間	1ヵ月定期	駅からの距離	管理人	屋根
姫路駅前中央地下駐輪場	100	1日	100	2時間	2,000	100-200m	○	○
姫路駅西地下駐輪場	100	1日	100	2時間	2,000	100-200m	○	○
大手前地下駐輪場	100	1日	100	2時間	1,400	300-400m	○	○
姫路駅東口自転車駐車場	110	1日	110	-	2,090	0-100m	○	○
姫路駅東口第2自転車駐車場	100	1日	100	2時間	1,740	300-400m	○	○
姫路駅西自転車駐車場	110	1日	110	-	-	200-300m	○	○
忍町駐輪場	無料					300-400m		
路上駐輪場	100	4時間・6時間	400-600	1時間・1.5時間	-			
民営駐輪場 A	100	1日	100	2時間	-	100-200m		○
民営駐輪場 B	100	8時間	300	1.5時間	-	0-100m		
民営駐輪場 C	150	5時間	750	2時間	-	0-100m		○
民営駐輪場 D	100	10時間	300	1時間	-	0-100m		○
民営駐輪場 E	100	24時間	100	2時間	-	100-200m		○
民営駐輪場 F	200	8時間	600	3時間	-	100-200m		
民営駐輪場 G	100	1日	100	-	2200	200-300m	○	○
民営駐輪場 H	150	10時間	450	-	-	300-400m		
民営駐輪場 I	50	24時間	50	-	-	300-400m		○

※「駅からの距離」は、姫路駅と山陽姫路駅のうち近いほうの駅の最寄りの改札と駐輪場との直線距離

※ 利用料金はすべて割引や回数券等を使用しない場合の自転車の駐車料金

※ 屋内以外に、高架下など頭上に構造物があり雨などが当たらない構造になっているものも、屋根ありとしている

⑨ 他都市状況調査結果：公設駐輪場の主な利用目的及び整備目的

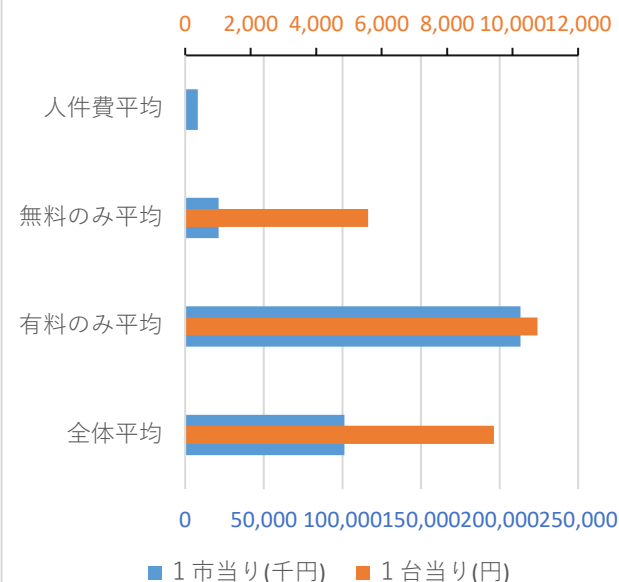
駐輪場管理運営に要するコスト(平成30、31年度2年平均／整備費等除く)

駐輪場管理運営に要するコスト		中核市	兵庫県内	全体
有効回答数(姫路市含む)		54	11	61
平均年間経費（人件費、整備費除く・千円）		106,018	101,892	101,267
	有料駐輪場のみの自治体	228,671	640,122	213,250
	無料駐輪場のみの自治体	22,812	0	21,291
	駐輪場をすべて直営している自治体	17,497	0	17,497
	半数以上の駐輪場を直営している自治体	83,907	18,528	79,549
	最大値	792,392	398,683	792,392
1台当たりの平均年間経費（同上・円）		9,642	7,043	9,430
	有料駐輪場のみの自治体	10,634	12,174	10,756
	無料駐輪場のみの自治体	5,989	0	5,590
	駐輪場をすべて直営している自治体	10,618	0	10,618
	半数以上の駐輪場を直営している自治体	7,185	948	6,769
	最大値	27,679	18,618	27,679
正職員を除く年間人件費の平均（千円）		8,217	10,132	8,011
	最大値	23,557	23,557	23,557
	最小値	273	2,903	273
	「0」と回答した市も含む平均	1,522	4,605	1,445

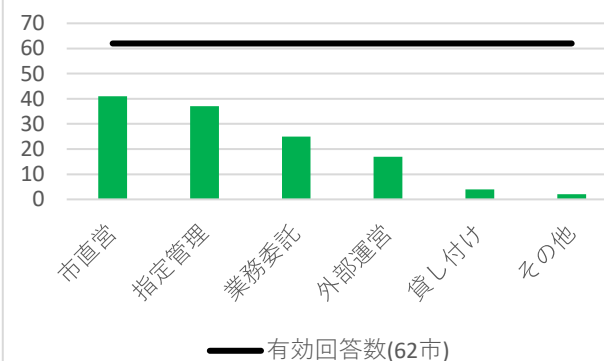
採用している公設駐輪場の管理運営方法として以下の項目を選択した自治体数

公設駐輪場の管理運営方法		中核市	兵庫県内	全体
有効回答数(姫路市含む)		55	11	62
	市が直営	38	5	41
	指定管理者制度	34	6	37
	管理業務委託（有償）	22	3	25
	外部運営（委託費なし）	15	5	17
	運営者に市有地、施設を貸し付け	3	2	4
	その他	2	0	2

公設駐輪場管理運営経費(年間)



公設駐輪場管理運営方法



⑩ 姫路市の公設駐輪場整備コスト

		開設年度	施設の規模		当初建設費 (千円)	財源内訳 (千円)			大規模改修等		公費負担額合計(千円)	
			面積(㎡)	収容台数		市費	国費	その他	改修年度	改修費用	合計	1台当たり
市 営 有 料 駐 輪 場	姫路駅前中央地下駐輪場	S63 (1988)	3,140	2,006	1,084,993	642,933	442,000		H25-28	243,837	1,328,770	662.4
	姫路駅西地下駐輪場	H3 (1991)	1,326	868	315,682	315,682					315,682	363.7
	大手前地下駐輪場	H5 (1993)	1,200	369	509,000	509,000			H28	78,337	587,337	1,591.7
	御着駅前自転車置場	H4 (1992)	1,135	650	201,759	201,759			H29	49,792	251,551	387.0
(公財)自転車駐車場整備センターが 運営する平均的な屋内型駐輪場		H20前後	700	600	105,094	8,400		96,694			8,400	14.0
【参考：無料駐輪場①】 妻鹿駅駐輪場(構造物あり・平面・2層)		H26 (2014)	435	370	46,923	46,923					46,923	126.8
【参考：無料駐輪場②】 播磨高岡駅北駐輪場(屋外・平面)		H7 (1995)	810	350	12,500	12,500			H21	1,632	14,132	40.4
【参考：無料駐輪場③】 広畑駅前駐輪場(屋外・平面)		H28 (2016)	203	100	3,120	3,120					3,120	31

※ 西地下駐輪場の整備は駐車場と合わせて姫路市都市整備公社が実施。上記費用は、市が公社に支払った費用清算額（駐輪場部分出来高金額による）

※ 大手前地下駐輪場の総事業費は3,429,000千円。上記当初建設等費用は総事業費から駐車場部分事業費を引いた差額

※ 御着駅前自転車置場の当初建設等費用は不明のため、姫路市土地開発公社からの購入費を記載（H4年度に施工、H5年3月に購入）

※ 中央地下駐輪場の大規模改修費用には、西地下駐輪場のバイクレーター等改修費用を含む

※ 播磨高岡駅北駐輪場の建設費はH6整備計画における算定額。また、駅前広場整備に合わせて改修しているため、改修費用は総工費から面積按分している

※ 播磨高岡駅北駐輪場の整備にあたっては市が用地を購入しているが、用地取得費等は建設費に含んでいない

⑪ 姫路市の公設駐輪場整備運営コスト

		開設年度	施設の規模		整備費(公費負担)(千円)		H31年度運営費(千円)		利用料金収入(千円)		1台当たり 年間収支 (千円)	1台当たり 40年間収 支 (千円)
			面積(m ²)	収容台数	合計	1台当たり	合計	1台当たり	合計	1台当たり		
市 営 有 料 駐 輪 場	姫路駅前中央地下駐輪場	S63 (1988)	3,140	2,006	1,328,770	662.4	75,210	19.3	46,814	23.3	3.3	-531.6
	姫路駅西地下駐輪場	H3 (1991)	1,326	868	315,682	363.7			21,329	24.6		-232.9
	大手前地下駐輪場	H5 (1993)	1,200	369	587,337	1,591.7			3,748	10.2		-1,460.9
	御着駅前自転車置場	H4 (1992)	1,135	650	251,551	387.0			16,046	24.7		-256.2
(公財)自転車駐車場整備センターが 運営する平均的な屋内型駐輪場			700	600	8,400	14.0	15,400	25.7	16,800	28.0	2.3	79.3
【参考：無料駐輪場①】 妻鹿駅駐輪場(構造物あり・平面・2層)		H26 (2014)	435	370	46,923	126.8	14,956	2.1	0	0.0	-2.1	-212.0
【参考：無料駐輪場②】 播磨高岡駅北駐輪場(屋外・平面)		H7 (1995)	810	350	14,132	40.4			0	0.0		-40.4
【参考：無料駐輪場③】 広畑駅前駐輪場(屋外・平面)		H28 (2016)	203	100	3,120	31			0	0.0		-31.2

※「整備費」は公費負担額であるが、市営有料駐輪場及び整備センター運営駐輪場の「運営費」は、指定管理者及び整備センターの支出を含む

※市営有料駐輪場及び整備センター運営駐輪場の「利用料金収入」は、現行制度上は指定管理者及び整備センターの収入となっている

※「1台当たり年間収支」は、利用料金収入と運営経費の差を取ったものであり、整備費は考慮していない